

豊地まちづくり協議会

地域計画書



平成27年5月 策定

目 次

I. 地域計画策定にあたって	・・・ P. 1
1. 地域計画の進め方	
2. 地域計画策定の経過	
II. 豊地地区の概要	・・・ P. 2
1. 地域の特性	
2. 豊地地区の年代別人口の推移	
3. 地域の主な課題	
III. 地域の将来像	・・・ P. 4
1. 将来像の考え方	
IV. まちづくりの具体計画	
豊地の目指すすがた	
1. 元気を育む《地域振興分野》	・・・ P. 5
2. 絆をつくる《福祉、健康推進分野》	・・・ P. 6
3. 自然を活かす《教育文化、環境分野》	・・・ P. 7
4. 安心、安全に暮らす《防災・防犯分野》	・・・ P. 9
V. 参考資料	・・・ P. 10
1. 豊地地区の文化財等	
2. 豊地地区の自然	
3. 豊地地区の主な施設	
4. 豊地地区の特産品	
5. 豊地地区の高齢化率	
VI. 地域計画策定委員	・・・ P. 11

豊地イメージソング 「豊地・ゆめ・希望」

地域計画策定にあたって

1. 地域計画の進め方

豊地まちづくり協議会では、平成25年度より自分たちのまちの未来についてどうしたいのか、どのような課題があるのか、目指す姿を実現するにはどうしたら良いのかをまとめるため、地域計画の策定に取り組んできました。

策定するにあたり、より沢山の方に関わっていただきながら様々な意見やアイデアを出していただくこと、アンケートの実施、意見聴取の場としてサロンやワークショップを開催してきました。

アンケートでは、1435人の方よりご回答をいただくことができました。また「豊地えがお豊作サロン」「豊地わくわくワークショップ」では、中学生から高齢者まで世代や性別に関係なく参加していただき、自分たちのまちである豊地の将来の姿について、とても熱心に、アイデア溢れる有意義なご意見をたくさん頂戴することができました。まさに、この地域計画策定のひとつの目的でもある「一人ひとりがまちづくりの主演」として参加していただけたのではないかと考えています。

みなさんからいただいたご意見をもとに、ここに豊地まちづくり協議会地域計画をまとめました。ここから更にまちづくりを進めていく中で、社会情勢や、地域の新たな課題、ニーズなど様々な変化が起こると思われれます。

「人と自然が豊かに育むところ豊地」の実現にむけて、この地域計画が豊地まちづくりの道しるべとなるよう願っています。

2. 地域計画策定の経過

平成25年12月	豊地地区全世帯を対象にアンケートを実施
平成26年2月	「豊地えがお豊作サロン」を実施
平成26年6月	第1回地域計画担当者会議
平成26年7月	第2回地域計画担当者会議
平成26年8月	第3回地域計画担当者会議
平成26年9月	「豊地わくわくワークショップ」を開催
平成26年9月	第4回地域計画担当者会議
平成26年10月	第5回地域計画担当者会議
平成26年11月	第6回地域計画担当者会議
平成27年1月	第7回地域計画担当者会議
平成27年2月	第8回地域計画担当者会議、第9回地域計画担当者会議
平成27年3月	第10回地域計画担当者会議、第11回地域計画担当者会議

II. 豊地地区の概要

1. 地域の特徴

地理、特産品・・・白米城を南に仰ぎ、嬉野地域のほぼ中央に位置します。清流中村川が育んだ肥沃な土地が東西南北に広がり、びわ、トマト、みかん、一志米、お酒など自慢の特産品が多く生産されています。

観 光・・・豊地地区内には平成8年3月に開通した伊勢自動車道が縦貫しています。嬉野一志町内には一志嬉野インターチェンジ、嬉野薬王寺地内には嬉野パーキングエリアを有しています。地区内にはゴルフ場があり、このインターを利用して県内外から多くの方が訪れています。

歴史・文化・・・嬉野一志町にある薬師寺には、国指定重要文化財である薬師如来立像が安置されており、12年に一度の御開帳が行われます。また、嬉野八田町には市指定史跡である八田城跡があり、地域の方の手によって里山型公園として活用、保存されています。

著 名 人・・・戦後、農政や農業基本法の制定に大きく貢献した東畑精一は嬉野井之上町で生まれ育ちました。井之上町には生家が残されているほか、県農業大学校敷地内には東畑精一記念館があります。

また、嬉野堀之内町で生まれ育ち、元大蔵官僚で在ケニア日本大使、世界銀行日本代表理事を務められた宮村智氏など、豊地地区には優秀な人材を育てる学びの風土が培われています。

教育・子育て・・・学習、教育に対し求めてやまない風土である豊地地区の子どもたちの学び舎である豊地小学校は、平成16年11月に新校舎が建設され、市内では最先端の設備を兼ね備えるだけでなく、天然樹をふんだんに使った心身に優しい校舎の中で、200余名の児童が“学び”に励んでいます。また、地区内には豊地幼稚園、嬉野保育園、嬉野中学校があり嬉野地域の子育てや教育施設の拠点となっています。

2. 豊地地区の年代別人口の推移

H27. 1. 1	0-19 歳	20-59 歳	60-80 歳	80 歳以上	人口計	世帯数計
男	276	756	492	108	1632	
女	219	778	531	194	1722	
計	495	1534	1023	302	3354	1320

H21. 1. 1	0-19 歳	20-59 歳	60-80 歳	80 歳以上	人口計	世帯数計
男	317	906	443	76	1742	
女	270	952	465	175	1862	
計	587	1858	908	251	3604	1237

H17. 1. 1	0-19 歳	20-59 歳	60-80 歳	80 歳以上	人口計	世帯数計
男	365	963	394	64	1786	
女	313	1044	432	138	1927	
計	678	2007	826	202	3713	1168

(市ホームページ 統計情報 町別年齢別人口より抜粋)

3. 地域の主な課題

(1) 元気を育む (地域振興分野)

豊かな自然に恵まれてはいるが、ゴルフ場以外には大きな商業施設や工場はないので他地域からの人の出入りは少ない。おだやかで暖かい地域性であるが刺激が少なく活気に乏しい。元気な町にするために、情報発信の内容や方法を充実させ、人々の交流の場を多くつくり、豊地の良さを地域内外の人々に知ってもらう必要がある。

(2) 絆をつくる（福祉・健康推進分野）

少子高齢化の波はこの地域にも着実に押し寄せている。自治会内での人々の交流はかなりはかられているが、地域全体としての結びつきは十分とは言えない。誰もが安心して楽しく暮らしていくためには、地域全体での同世代間の交流や世代を超えた人々の交流の機会を多くして人々の絆を深めることが大切であり、若い世代が地域に愛着を持ち将来的に住み続けたいと思えるようなまちづくりが必要である。

(3) 自然を活かす（文化教育・環境分野）

清流中村川流域の肥沃な土地に恵まれ、米を中心とした穀類や野菜・果物の生産が盛んである。一方では、農業の担い手不足や獣害により田畑や山林・竹林の荒廃も見られる。地域の人々の創意工夫により恵まれた自然環境をうまく活用し、自然環境保全と地域再生に努める必要がある。併せて、地域の歴史や文化についても学べるような事業を取り入れていくことが求められる。

(4) 安心、安全に暮らす（福祉、防災・防犯分野）

公共交通機関がなく、通勤等生活の移動手段は車が中心である。「おおきんバス」が運行されるようになって高齢者への利便性は徐々に高まってきているが、運行ルート・運行回数は充分とは言えない。「おおきんバス」サービスのいっそうの充実が求められる。子どもや高齢者を災害、事故、犯罪等から守り誰もが安心して安全に暮らせるためのやさしいまちづくりのために、防災訓練、通学路歩道の整備、防犯灯の十分な設置が必要である。

Ⅲ. 地域の将来像

1. 将来像の考え方

人と自然が 豊かに 育むところ 豊地

【 基本理念 】

豊かな土壌と自然の恵み、いにしえより続く豊かな文化、そこに暮らす者の豊かな心。その豊地の誉れを脈々と受け継いできた私たちのふるさと豊地。

「豊地まちづくり協議会」は、ここに生まれ・ここに育ち・ここに暮らすことその誉れを胸に、誰もが健やかに安心して暮らすことのできる「人と自然が豊かに育むところ…豊地」の実現を目指してまいります。

IV. まちづくりの具体計画 (○は継続事業、◎は新規事業)

* 新規事業については平成27年度より順次取り組む

豊地の目指すがた	1. 元気を育む	《地域振興分野》
	<p>1-1 豊地情報発信基地をつくろう 【協働】</p> <p>豊地地区の良さを広くPRするため、活動状況などを発信できる体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none">○豊穰の地の発行(年12回)○イベント時における活動内容の展示○豊地もりあげて帳~の活用◎SNSを活用したイベントのPR、活動の情報発信、交流◎空き施設の有効活用の検討(物産品の販売所、体験活動などができる拠点整備)	
	<p>1-2 「スマイル豊地」推進運動の実施 【協働】</p> <p>「おはようございます」「こんにちは」など、元気の源となるあいさつを、豊地中に広め、「人もまちも元気な豊地」を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none">◎豊地独自のオアシス運動「スマイル豊地」看板の設置◎学校、保護者、各種団体、と連携しながら「スマイル豊地」を推進	
	<p>1-3 次世代にむけた人材の育成、確保 【自主】</p> <p>地域愛を育み、未来に向けた地域づくりを担う人材育成をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none">○豊地のまちづくりについて、共に考え語らう場として「豊地えがお豊作サロン」を開催する○必要に応じてスキルアップのための講習、研修をおこなう○豊地小学校を卒業した子どもたちが成人式を迎える際に、記念品とともに保護者、恩師、協議会からのメッセージをつけて贈ることで生まれ育った「豊地」への愛情を育む	
	<p>1-4 自主財源の確保 【自主】</p> <p>安定した協議会の運営のため自主財源の確保に向けた取り組みをおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">○郵送やSNSなどを利用したふるさと応援寄付金のPR◎地場産品の販売をおこなう「青空バザール」の開催	

2-1 高齢者支援事業の実施 【協働】

地域の歴史を紡いできた高齢者を敬う機会として、敬老事業を実施するとともに高齢者が地域で暮らしやすいよう交通手段の支援をおこなう。

- 対象となる高齢者宅を訪問し、元気な顔を拝見し記念品を届ける
- 高齢者が地域コミュニティバス「おおきんバス」を利用しやすいよう、運賃の半額補助をおこなう。また運行数やルートなどについて高齢者の意見を集約する

2-2 宅老所の充実と高齢者の見守り 【協働】

地域で高齢者や支援が必要な方がいきいきと暮らすため、宅老所の充実を図るとともに、地域全体で見守る。

- 全自治会での宅老所開設を目指し、年間活動支援として助成をおこなう。
- 自治会を中心にして民生・児童委員、老人会などと連携しながら、地域全体で高齢者や支援が必要な方の見守りをおこなう。



2-3 心も体も元気に 健康推進事業 【協働】

運動、食事、医療などの健康管理、あらゆる視点から楽しく健康を推進していく。

- 豊地イメージソング「豊地 ゆめ・希望」にのせた健康体操をイベント時や学校、宅老所など広く普及させ健康推進に活用する。
- 地区民が集ってスポーツを楽しむ機会として地域の特色を活かした地区民運動会を開催する。



- 気軽にスポーツに親しむ機会として、フォータッチバレー大会などニュースポーツを取り入れた事業をおこなう。
- みんなの健康と幸せのために、市やNPO団体などと協力して、健康づくりのための講演会や健康教室などを開催する。

3-1 世代をつなぐ「豊地を学ぶ」事業 【自主】

地域でいつまでも生きがいを持って暮らせるよう、学習体験機会を設けるとともに、地域の中で豊かな経験や知識を持った方々から、郷土や伝統について学ぶ機会を設けることで、地域を誇りに感じ愛する心を育む。

○公民館講座、事業の充実、支援

◎地域の偉人「東畑精一」について学ぶ機会づくりや、全国で活躍されている豊地地区出身者の方、また地域の中で豊富な経験や知識を持った方から話を聞く機会の設定



3-4 中村川ウォーキングロードの整備 【協働】

豊地地区の豊かな大地を育む源である中村川。その中村川の景観を活かしたウォーキングロードの整備を関係官庁と協議しながら実施する。

◎中村川の美しい自然を満喫しながら、安全で楽しくウォーキングがおこなえる中村川堤防周辺の整備

◎いつまでも美しい中村川の河川環境を保全するためのクリーン作戦の実施

3-3 豊地の風土体感事業 【自主】

清流中村川の恵みを受け、肥沃な土壌と豊かな自然が広がる“ふるさと豊地”の風土を体感し、その環境を保全、再生する事業を行うことで、地域を自慢に思い大切にすることを育む。

○ホテルの里づくり事業

ホテルが飛び交う川への再生事業として、昔ホテルの名所であった大谷川、駒返川において、ホテルの幼虫が生育しやすい河川環境の保全と、個体数の増加のため幼虫の放流などを行う

○田んぼでどろんこ体験事業

どろんこになって遊ぶ機会が少なくなった今日において、土の香りや感触を体感できるよう、転作田などを利用してどろんこ綱引きなどの遊びを楽しむ

○荒廃竹林の再生と活用

荒廃竹林の伐採整備を行い、その竹を再利用して「流しそうめん大会」の実施や地域の昔遊び達人に竹細工を教わる「竹細工であそぼう」を実施する。また荒廃竹林の整備活動に参加した方に、春にタケノコ掘りを体験してもらう



3-2 「豊地祭り」の開催 【自主】

豊地地区の豊かな自然とともに育まれた文化を結集した「豊地祭り」（文化祭）を開催し、それぞれの個性光る文化芸術を認め合い、地域の文化振興をおこなう。

- 「豊地祭り」（文化祭）の実施

3-5 文化財を活用したまちづくり 【協働】

地域の文化財、伝承地、自然を活用したまちづくりをおこなうことで、地域の歴史を学び活動することで近隣地域との交流を図る。

- 市指定史跡「八田城跡」を活用し、さらに同じ北畠氏の山城であった白米城への薬王寺町からの登山道を連携して活用し、近隣地域との交流を図り地域の歴史を学べるイベントの開催
- 国重要文化財である薬師寺の薬師如来立像、向山古墳や、鎮魂のしだれ桜など地域の歴史や自然の魅力についてまとめたウォーキングマップの作成



フレイクコーナー

豊地えがお豊作サロンではこんな意見も・・・

- ・こどもなんでもオリンピックの開催（びわの種とばし、けん玉、一輪車など）
- ・仮装大会（コスプレありよ！）で盛り上がりよう！
- ・三世代を巻き込んだ取り組み（高齢者も入った子育ての会とか・・・）
- ・ゴルフ場を活用したイベントの開催

4-1 子ども安全・見守り事業 【協働】

子どもたちの登下校時の安全を確保するため、学校と協力しながら地域全体で見守り活動をおこなうとともに、危険箇所について把握、改善にむけた取り組みをおこなう。

- 登下校時間にあわせて安全見守りボランティアが、児童に付き添うなどの活動をおこなう
- 育成会を通じた危険箇所への看板の設置
- 幹線道路の歩道の確保、危険箇所の改善について関係機関との調整
- 自治会単位でのヒヤリハット地図の作成と活用

4-2 防犯灯設置事業 【自主】

夜間の通行、防犯に対する安全を確保するため、防犯灯の管理、設置などをおこなう。

- 自治会における既存防犯灯管理のための補助
- 町と町の境界など暗く危険な場所がないよう、マッピング作業をおこない、防犯灯設置個所の見直しと増設をおこなう

4-3 防災に備えた取り組み 【協働】

来たるべき災害に備え、防災訓練を実施するとともに、日頃から防災意識を高め地域のつながりを強くするための活動をおこなう。

- 豊地地区防災訓練の実施
- 自治会単位で要支援者の把握や災害時の対応、避難所の運営など具体的な取り組みをおこなう



スライクコーナー

豊地わくわくワークショップではこんな意見も・・・

- ・とよち見合いサロンをゴルフ場で開催
- ・JAライスセンター用地の活用（特産品販売、農業体験施設、スポーツ施設）
- ・中学校がきれいになってほしい
- ・若い人が定住する就労先の開拓、若い世帯の補助金制度

豊地まちづくり協議会地域計画

次世代にむけた人材育成の推進

スマイル豊地の推進

豊地情報発信基地の推進

豊地風土体験事業

中材川ウォーキングロードの整備

世代をつなぐ「豊地を学ぶ」事業の推進

元気を
つくる

自然を
活かす

人と自然が
豊かに育むと
ころ 豊地

安心・安全に
暮らす

絆を
つくる

子ども安全・見守り事業

防犯灯設置事業

防災に備えた取り組み

高齢者支援事業

宅老所の充実と高齢者の見守り

心も体も元気に健康推進事業

平成27年度 松阪市豊地まちづくり協議会

V. 参考資料

1. 豊地地区の文化財等

- 国重要文化財 : 木造薬師如来立像 (一志)
国史跡 : 向山古墳 (上野)
松阪市指定史跡 : 八田城跡 (八田)
神社 : 豊地神社 (下之庄)、愛宕神社 (下之庄)
寺等 : 信行寺 (下之庄)、円光寺 (上野)、善福寺 (薬王寺)、梅香庵 (薬王寺)、義明寺 (八田)、医王寺 (井之上)、真性寺 (島田)、西方寺 (島田)、薬師寺 (一志)
その他 : ^{おととい}兄弟塚 (島田)、鎮魂のしだれ桜 (八田)、グレース人形 (豊地小)

2. 豊地地区の自然

- (1) 主な1級河川 : 中村川、大谷川、駒返川
(2) 地目区別・現況地積面積 (平成23年12月8日現在) 単位: ha. %

大字	田	畑	山林	原野	雑種地	宅地	その他	合計	比率
堀之内	11	1	0	0	0	2	6	20	2
下之庄	28	18	3	0	1	11	25	86	11
上野	15	12	11	1	2	9	10	60	7
神ノ木	0	0	0	0	0	2	1	3	0
薬王寺	30	9	123	1	0	7	25	195	24
八田	24	2	23	1	0	6	7	63	8
井之上	9	5	17	0	0	3	7	42	5
島田	46	29	84	1	3	11	91	264	32
一志	30	6	20	1	0	9	17	83	10
合計	192	82	282	4	6	60	189	816	100

※4捨5入のため、合計数値等は合致しない。

3. 豊地地区の主な施設

- (1) 公共的施設
市営斎場ヒプノス嬉野 (島田)、豊地農構センター・豊地公民館 (下之庄)
一志嬉野インターチェンジ料金所 (一志)、嬉野パーキングエリア (薬王寺)
- (2) 学校等施設
嬉野保育園 (上野)、豊地幼稚園 (下之庄)、豊地小学校 (下之庄)、
嬉野中学校 (下之庄)

(3) その他
薬王堂病院

4. 豊地地区の特産品

びわ（島田）、地酒（井之上）、トマト（一志）、みかん（薬王寺）、米

5. 豊地地区の高齢化率 平成 27 年 3 月 1 日現在

豊地地区	町名	全体人口	全体人口 男	全体人口 女	65 歳以上	65 歳以上 男	65 歳以上 女	高齢化率	高齢化率 男	高齢化率 女
	堀之内町	84	42	42	33	13	20	39.28%	30.95%	47.61%
	下之庄町	459	217	242	158	73	85	34.42%	33.64%	35.12%
	上野町	613	308	305	172	80	92	28.05%	25.97%	30.16%
	神ノ木町	276	139	137	44	23	21	15.94%	16.54%	15.32%
	薬王寺町	247	107	140	90	35	55	36.43%	32.71%	39.28%
	八田町	322	152	170	83	34	49	25.77%	22.36%	28.82%
	井之上町	107	52	55	37	15	22	34.57%	28.84%	40.00%
	島田町	438	214	224	133	59	74	30.36%	27.57%	33.03%
	一志町	792	395	397	275	129	146	34.72%	32.65%	36.77%
計	3,338	1,626	1,712	1,025	461	564	30.70%	28.35%	32.94%	

VI. 地域計画策定委員

豊地まちづくり協議会会長	中村 五男
豊地自治会長会代表	多賀 節
豊地自治会長会代表	北川 進
学識経験者	居附 康子
地域活性化支援アドバイザー	境 克敏
嬉野地域振興局地域振興課	秋田 桃子

豊地イメージソング

豊地・ゆめ 希望

- 1 白い雲流れる 大空の下 今日も一日 暮れていく
明日の息吹を 胸に秘めて 楽しい仲間 囲まれた
この豊地の郷里(さと)は 我がふるさと
ああふるさとは 今日も暮れ行く

- 2 春の風吹くころ びわの葉そよぎ 早苗も萌える そよ風と
八田の城跡(しろあと) むかしをしのび
若いみんなに 希望を託す
この豊地の郷里(さと)は 我がふるさと
ああふるさとは 今日も明け行く

- 3 夏は中村川に 涼しさ求め 水辺にひびき さわやかな声
地域のみんなで 夢に生きる 明るい日差しに 勇気をを受けて
この豊地の郷里(さと)は 我がふるさと
ああふるさとは 今日も輝く

- 4 夢に向かって 突っ走る 明るい日差しは 何時(いつ)もある
この豊地の郷里(さと)は 我がふるさと
ああふるさとは 未来(あす)も輝く
ああふるさとは 未来(あす)も輝く